



日程：2018/07/15 10:00～17:30

会場：京都工芸繊維大学3号館0321教室

参加：京滋・奈良エリアから**13会員33名**が参加！

セミナー獲得目標

○自分たちの活動の可能性を感じ、実現に迎えられるようになる。

[1回生]

京滋・奈良エリアを実感し、さらに活動に対して可能性を感じることで、これからの活動に意欲を出す。

[2回生]

実行したいことを想像し、この夏に自分たちがすべきことを考えられるようになる。

[3回生]

今までの活動の良かったところ、伸びしろの両方を再認識し、自分たちの今後を考えられるようになる。

01 みんなでやれば怖くないの時間

学生委員会実態調査を用いて他大学と交流！

5月中に学生委員長などに聞き取りを行った、学生委員会実態調査を元に自大学と他大学で共通点や相違点を交流しました。気になったポイントを交流することでより内容を深めることができました。また、1～3回生と立場の異なるメンバーが交流することで、幅広い意見が出ました。エリア全体で学び合い、真似び合うことによってそれぞれの大学で発展し、エリア全体のレベルアップにもつながります。新しくチャレンジしたい取り組みも、みんなで学び合い、真似び合えば怖くありません。

「奈良3大学の連帯」の全体発表

奈良県立大学3回生の四方遼祐さんに奈良3大学の連帯について全体発表をしていただきました。奈良3大学で行われている、PN!奈良や奈良セミナー、新学期BUシステムの活動紹介が行われました。また、どのような経緯で奈良3大学の連帯が始まり、新学期BUシステムが生まれたのか伝えられました。連帯には「共感」が重要であること、そして協力することによって主体的に動けるようになり、よりよい活動になることがわかりました。



同じような企画でも、アプローチの仕方が様々であることが一覽で見比べられてわくわくした。
【深草3回】



立命館の3キャンパスでもっと協力して企画を行いたいと思いました。やる気UP!
【BKC2回】

02 半期総括の時間

京滋・奈良エリアの半期をみんなで振り返り！

各大学の活動事例を中心としながら、関西北陸ブロックで掲げた4つの目指すことごとに半期総括を行いました。エリア全体の現状を幅広く知り、事例を知ることで自分たちのこれからの活動のヒントにすることを目標としました。また、目指すことごとに班内で交流をすることで、ブロック方針を軸として自分たちでも振り返りが行えました。



自大学での活動をブロックでの目標を元に振り返ることで新たな発見があり、多くのつながりに気づくことができました。
【奈教3回】

03 5つの推進分野の時間

これから発展させたい推進分野の分科会

「店舗・食育・キャリア形成・広報・消費者教育」の5つの推進分野の分科会が行われました。分科会を経て、他の推進分野を含めた様々な活動につなげられるようになることを目標にしました。半期総括ともつなげながら、推進分野という視点で広い視野を持つことによって、さらに活動が発展することに期待しています。



(キャリア形成) になりたい姿や、行動することを意識することで、他の推進分野との結びつきが知れた。
【深草1回生】

04 目線別の時間 回生ごとに学びの最大化！

1回生：学生委員会の役割を振り返ろう

学生委員会は組合員のひとりとして、学生目線からより良い生活の実現をめざした活動をするという役割があることを再確認しました。また、ワークシートを用いながらセミナーの意義についても学びました。問題意識をもってセミナーに臨むことでよりよい学びにつながります。



生協に対する意識、理解が1段上がった気がする
【京田辺1回】

2回生：振り返りの大切さを学ぼう

これからの学生委員会での活動をよりよくしていくためにPDCAサイクルを紹介し、その中で振り返りに焦点をあてて提起が行われました。交流をしながら、自分たちの振り返りを見直しました。振り返りにおける重要なポイントやアンケートの大切さを再確認しました。



振り返りについて考え直すきっかけになり、他大学の振り返り方を知って今後活かそう
【工織2回】

3回生：学びを整理し、伝えられるようになろう

セミナーでの学びを自分の経験を踏まえ頭を整理し、自分で伝えられるようになることを目標としました。考えて話すというワークを何度も繰り返すことで、たくさんのアウトプットが行われました。3回生として後輩に自分なりにできることはないかを考えるきっかけになりました。



GIを引退しても積極的な組合員でなくなるわけではないので、まだまだ頭張りたいです
【奈良女3回】

05 広がれ仲間の時間

わくわくを自大学に伝える準備をしよう！

各大学ごとに分かれて、ワークシートを使いながら、わくわくややりたいことを自大学に伝える準備を行いました。最後に自分たちの気持ちを傘連判状に書き合いました。やりたい気持ちに回生の差はなく、みんなのわくわくを尊重して共感の輪を広げていきましょう。セミナー全体を通して、仲間が増え、活動が広がっていく「わくわく」を感じてもらうことができました！



やりたいことを書きだしたら自分がしたいことがはっきりしてこれからの楽しみになった！
【奈良女1回】